

平成30年度 第2回 東濃高校活性化協議会 議事要旨

日 時	平成31年1月23日(水) 13:00～
場 所	東濃高校 会議室
出席者 (敬称略、 委員名は 50音順)	<p>(委員)</p> <p>池田 万里 学校運営協議会(東濃高校PTA書記)</p> <p>各務 眞弓 学校運営協議会(可児市国際交流協会事務局長)</p> <p>鍵谷 欣弘 学校運営協議会(東海化成工業総務人事課)</p> <p>川畑 敦子 学校運営協議会(東濃高校PTA会計)</p> <p>木村 彰伯 学校運営協議会(東濃高校PTA会長)</p> <p>古賀 和美 学校運営協議会(東濃高校PTA副会長)</p> <p>芥藤 之男 学校運営協議会(御嵩町ボランティア団体代表)</p> <p>佐藤 智恵美 学校運営協議会(東濃高校PTA副会長)</p> <p>高木 俊朗 御嵩町教育長</p> <p>田中 妙子 学校運営協議会(地域代表(税理士))</p> <p>日比野 安平 美濃加茂市教育長</p> <p>(高校)</p> <p>亀山 弘 校長</p> <p>林 靖 教頭</p> <p>青井 俊久 教頭</p> <p>脇田 治之 事務長</p> <p>大島 直人 生徒指導主事</p> <p>三田村隆広 進路指導主事</p> <p>(県教育委員会)</p> <p>高橋 宗彦 教育総務課教育主幹</p>
議事概要	<p>1 校長より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県の活性化事業も三年目となり今年が最後となる。さまざまな取組を行ってきたが、それらについての評価と今後の本校について、忌憚のないご意見を伺いたい。 <p>2 学校全体の取組について(自己評価・学校関係者評価より)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習指導や生活指導の分野で評価が「B」の項目がある。学校として具体的に取組んではいるだろうが、課題の解決はそう簡単にはいかないと思う。生徒にできるだけ具体的な目標を持たせることが大切。 ・教員が一丸となり、腰を据えて指導に取り組むとよい。 ・資格取得に弱さがある。資格は将来に生きる力となるので、指導の重点にして積極的に受験させるとよい。 ・学習や資格指導では、少数のトップランナーを作り、その後それに追随する生徒を育てるとよい。 ・東濃高校の取組は、演劇表現ワークショップやキャリア教育など、生徒の生きる力を育てていると感じる。これからも継続して行って欲しい。 ・「授業評価カード」(スタンプカード)は、外国人生徒や学習意欲の低い生徒にとっては有効だと思うので続けて欲しい。

3 地域づくり類型の学習成果について（学習報告会資料より）

- ・高校生が地元の強みや課題を理解し、町の活性化についての具体的な提案を行うことは、地元にとっても高校生にとっても大変有意義である。外部講師の活用やフィールドワークを多く取り入れた学習スタイルも特色があつてよい。
- ・本日の発表を参観したが、「現有の観光資源を活用した実現可能なプラン」というコンセプトに感心し、レベルの高い提案だと感じた。「実現可能」であるなら、大人（役場職員等）の力を借りて、是非実現させて欲しい。そのことで高校生たちはさらに自信がもてると思う。
- ・役場移転や願興寺再建など、今後3年で御嵩町は大きく変化する。その変化の流れに、今回の提案のように高校生が関わることができれば、お互い大きく成長できるのではないかと考える。

4 外国人生徒への指導について

- ・入管法の改正に関わって、この先、国際クラスのあり方や外国人生徒への指導に対する外部からの関心がさらに高まってくると思う。
- ・多文化共生センターとして、さらに密接に東濃高校と連携し、高校入学後の生徒のサポートや高校生のセンターでの活動の様子の連絡などを行いたい。
- ・外国人生徒の日本語習得は、少人数クラスより一般クラスの方が効果が上がる面もある。指導方法を工夫するとよい。

5 地域連携・情報発信について

- ・今年も地元小学校の英語指導に外国人生徒が補助指導員として来てくれて助かっている。児童も高校生も楽しそうに活動していた。
- ・御嵩町環境都市交流体験プロジェクトへの高校生の参加は、中学生にとっても大きな刺激になり大変有意義であった。できれば継続して欲しい。
- ・学校広報の地域配布は、情報発信として有効に働いている。さらに充実を期待する。
- ・すぐメールをもっと活用して、タイムリーに情報発信して欲しい。
- ・東濃高校ではさまざまな面で御嵩町と連携できている。地域に大切にされることで、子どもたちがさらに生き生きと学ぶようになっている。

6 部活動の活性化について

- ・ウェイトリフティング国体優勝は立派。後に続く生徒を育てて欲しい。
- ・部活動に参加する生徒が少ない。部活動を三年間継続することは将来の財産になる。また、部活動を通して保護者同士のつながりも深まる。是非活性化させて欲しい。
- ・部活動を活性化させるには、指導者が「日本一」を目指す気持ちで指導に当たるとよい。ただし、部活一辺倒の指導では効果が出ない。生活や学習の指導も部活の中で行う。技術指導は外部の専門家を呼ぶと効果が上がる。
- ・ロボコン部など、部活動を小中学校でピーアールして人材を確保するとよい。

7 その他

- ・演劇表現ワークショップのアシスタントは「俳優」でなくてもよいのではないかと。子どもの指導ができるボランティアは多くいると思う。
- ・自分の子どもを3人とも東濃高校に通わせた。3人とも中学校までは消極的で自信の持てない子どもだったが、東濃高校の生活を通して、積極的に自信をもって活動できる子に成長できた。親として大変感謝している。